

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表(H23年度)

平成 24 年 5 月 31 日

九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定 に向けた方針)	評価結果	
1	福岡県糸島市離島航 路確保維持協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	糸島市	姫島～岐志	A	B	団体利用客の固定化と新規誘 致、運航ダイヤの改善による利 便性の向上や、釣り客などの観 光客の利用促進に取り組み、収 支率の向上を図る。	生活交通としての機能を確保しつつ、交 流人口の拡大に対応した輸送サービスを 提供する方策を検討されることが望まし い。	
2	福岡県福岡市離島航 路確保維持協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	福岡市	玄界島～博多	A	B	島の人口の減少に伴い、渡船利 用者も年々減少しており、大幅 な収入増は見込めないことか ら、今後も経費削減等に努めて いく。	生活交通としての機能を確保しつつ、交 流人口の拡大に対応した輸送サービスを 提供する方策を検討されることが望まし い。	
3	福岡県福岡市離島航 路確保維持協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	福岡市	小呂島～姪浜	A	A	利用客の増加や収入の増は期 待できない状況であることから、 今後も経費節減等に努めてい く。	生活交通としての機能を確保しつつ、交 流人口の拡大に対応した輸送サービスを 提供する方策を検討されることが望まし い。	
4	福岡県新宮町離島航 路確保維持協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	新宮町	相島～新宮	A	A	島の活性化により、利用客の増 加を図る、支出の見直しを行い、 日ごろから経費節減を図る。	生活交通としての機能を確保しつつ、交 流人口の拡大に対応した輸送サービスを 提供する方策を検討されることが望まし い。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効果 達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定 に向けた方針)	評価結果	
5	唐津市離島航路確保 維持協議会	離島航路に係る地域 公共交通確保維持事業 (離島航路構造改革 補助事業)	川口汽船(有)	小川島～呼子航路の現況 把握・経営診断・航路診断 により、本航路の運営に 関する問題点や課題の把握 ・分析を行うとともに、航 路維持改善を図るための 具体的な方策として唐津 地区共通予備船導入の取 組みを盛り込んだ「航路改 善計画」を策定した。	A	-	・共通予備船建造に係る離島航 路構造改革補助金の申請を予 定 (事業内容) ・小川島～呼子航路を経営する 川口汽船(有)が、本航路及び 近隣の離島航路のドック時等の 代船として使用するための共通 予備船を建造する。共通予備 船の建造により、本航路の効率 的な運航と近隣航路への計画的 な用船により、佐賀地区離島 航路の維持と各航路事業者の 経営の安定化を図る。	本航路の維持及び近隣航路の用船事業 の安定化の観点から計画的なスケジュー ル感をもって予備船の建造に取り組むと ともに、本航路の運航計画の策定にあ たっては、燃料効率の良い予備船を効率 的に配船する等コスト削減を図ることが望 ましい。	
6	長崎県離島航路対策 協議会	離島航路に係る地域 公共交通確保維持事業 (離島航路構造改革 補助事業)	嵯峨島旅客船(有)	嵯峨島～貝津航路	A	A	離島住民にとって必要不可欠な 交通手段である航路の維持・確 保のため、今後とも経費削減に 努め、安定的な航路運営を行う こととしたい。	生活交通としての機能を確保しつつ、交 流人口の拡大に対応した輸送サービス を提供する方策を検討されることが望まし い。	
7	長崎県離島航路対策 協議会	離島航路に係る地域 公共交通確保維持事業 (離島航路構造改革 補助事業)	長崎汽船(株)	長崎～伊王島～高島航路 においては、伊王島大橋 開通や急速な人口減少と 少子高齢化により航路運 営環境が非常に厳しい状 況になっている。 本事業は同航路の運営上 の問題点を把握、分析し、 航路及び航路経営の将来 見通し、運営の改善方法 等の当該航路の確保・維 持方策について検討し た。	A	-	本調査事業において抽出された 問題点を踏まえ航路経営改善 のための施策を検討し、生活交 通ネットワーク計画等に平成25 年度から順次盛り込んでいくこと とする。	運航計画の策定に当たっては、地元や関 係機関等との連携を深め、運航便数の検 討を行いつつ、利用しやすい運航時刻と なるよう配慮されることが望ましい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効果 達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定 に向けた方針)	評価結果	
8	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路構造改革補助事業)	佐世保市	神浦～寺島～柳航路の経営診断等による問題点や課題の把握・分析を行うとともに、航路の維持・改善のために将来の欠損増大・経営破綻を回避するための改革の取組みを盛り込んだ「航路改善計画」の策定に係る事業。	A	-	平成24年度 離島航路に係る地域公共交通確保維持事業(離島航路構造改革補助事業)の申請を予定 (事業内容) ・現在、神浦～寺島～柳航路を運航している市営交通船について、「航路改善計画」に基づき、バリアフリー・小型効率化船舶の代替建造を行う。	高齢者や障害者に配慮した効率化船舶の建造により、燃料費等経費節減に努めるとともに、地元等関係者との連携を深め、利用しやすいダイヤとなるよう配慮しつつ、更なる利便性の向上に努めることが望ましい。	
9	姫島～国見航路運営協議会(大分県、姫島村、姫島村商工会、姫島村区長会)	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	姫島村	姫島～国見の離島航路運航	A	B	11月を恒久的に12便に増便した。観光客誘致を積極的に行う。さらに、船員費の削減に努める。	生活交通としての機能を確保しつつ、交流人口の拡大に対応した輸送サービスを提供する方策を検討されることが望ましい。	
10	大島～佐伯航路運営協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	佐伯市	大島～佐伯の離島航路運航	A	B	省エネ船に代替建造を行い、ダイヤの見直しや貨物運賃の改定を行う。また、県や商工会議所等と連携し、本航路の情報を広報する。	生活交通としての機能を確保しつつ、交流人口の拡大に対応した輸送サービスを提供する方策を検討されることが望ましい。	
11	大島～佐伯航路運営協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路構造改革補助事業)	佐伯市	大島～佐伯の離島航路運航	B	B	変更契約どおり平成24年9月中に引渡しができるように進捗状況の確認を行い、適正な履行を確保する。新船就航後は、省エネ船の効果を最大限に発揮させる運航に努める。	燃料効率のよい小型船舶の投入により燃料消費量の削減を図ることが望ましい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定 に向けた方針)	評価結果	
12	津久見～保戸島航路 運営協議会	離島航路に係る 地域公共交通確保 維持事業 (離島航路運営費等 補助事業)	(有)やま丸	津久見～保戸島の離島航 路運航	A	B	運航ダイヤ見直しを行い、コスト削減のため減便を検討する。また、ドック等での点検を徹底し、船舶修繕費の増加を抑制する。さらに、市や観光協会等と連携し、観光客の航路利用を促進する。	燃料効率のよい航行方法の検討、ダイヤ改正による燃料消費量の削減を図るとともに、生活交通としての機能を確保しつつ、交流人口の拡大に対応した輸送サービスを提供する方策を検討されることが望ましい。	
13	津久見～保戸島航路 運営協議会	離島航路に係る 地域公共交通確保 維持事業 (離島航路構造改革 補助事業)	(有)やま丸	○航路診断では、就航船舶、運航体制、運航時刻・便数、運賃、発着場、他の交通機関との接続状況、運航回数、輸送実績、需要予測、離島航路補助政策について検討を行い、さらにアンケート調査等により利用実態・ニーズ等を把握した結果から、本航路の運営上の課題を整理した。 ○経営診断では、収益構造や経費の構成状況等を把握し、本航路の経営上の課題を整理した。	A	-	平成25年度離島航路確保維持計画の中に、具体的に改善施策として掲げた10項目を盛り込む。特に、運航ダイヤの見直しは、乗継ぎ重視、減便、船舶の効率的な運航割当の3つ観点で行い、平成25年10月の新ダイヤでの運航開始を目指す旨を明記する。あわせて、減便等によるコスト削減見込を航路収益見込計算書に反映させる。	運航計画の策定に当たっては、地元等関係者との連携を深め、利用しやすい運航時刻、便数、乗り継ぎをしやすい接続となるよう配慮されることが望ましい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効果 達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定 に向けた方針)	評価結果	
	津久見～保戸島航路 運営協議会	離島航路に係る 地域公共交通確保 維持事業 (離島航路構造改革 補助事業)	(有)やま丸	<p>○診断から得た課題を解決するために、3つの視点(生活航路としての維持確保、保戸島住民をはじめ航路利用者のサービス水準の向上、航路事業者の経営安定(収益増加・費用削減))で検討を行い、次の10項目の具体的な改善施策と各施策の取組期間を、航路改善計画に盛り込んだ。</p> <p>① 航路運営に対する理解促進[直ちに] ② 交通機関の乗継ぎを重視した運航ダイヤの見直し[1年以内に] ③ 運航便数の減便[1年以内に] ④ 使用船舶の効率的な運航割当[1年以内に] ⑤ 運賃割引制度の導入の検討(島民割引運賃、島民回数券)[1年以内に] ⑥ 乗降施設及び販売所の改善[3～5年以内に] ⑦ 情報発信及びPRの強化[直ちに] ⑧ 経費の削減(燃料潤滑油費、人件費、支払利息、船舶修繕費)[直ちに又は1年以内に] ⑨ 貸切運航の強化[1年以内に] ⑩ 使用船舶の見直し[3～5年以内に]</p>					

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定 に向けた方針)	評価結果	
14	蒲江～深島航路運営協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	蒲江交通(有)	蒲江～深島の離島航路運航	A	B	遊覧運航や増便を検討する。 また、県、市と連携し、観光客の航路利用を促進する。	生活交通としての機能を確保しつつ、交流人口の拡大に対応した輸送サービスを提供する方策を検討されることが望ましい。	
15	喜界航路改善協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路構造改革補助事業)	奄美海運(株)	航路診断及び経営診断を行い、航路の現状を把握するとともに、住民アンケート(案)の作成及び調査実施方法に向けて検討を行った。	A	-	平成24年度は、住民アンケートの実施・分析により住民の意向を把握するとともに、財務分析・経営シミュレーションなどを行った上で、航路改善計画を策定する。	運航計画の策定にあたっては、地元の関係者との連携を深め、利用しやすい内容となるよう配慮されることが望ましい。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表(H24年度)

平成 24 年 5 月 31 日
九州 運輸 局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
1	福岡県糸島市離島航 路確保維持協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	糸島市	姫島～岐志	A	B	団体利用客の固定化と新規誘致、 運航ダイヤの改善等による利便性 の向上や釣り客などの観光客の利 用促進に取り組み、収支率の向上 を図る。	生活交通としての機能を確保しつつ、 交流人口の拡大に対応した輸送サー ビスを提供する方策を検討されること が望ましい。	
2	福岡県宗像市離島航 路確保維持協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	宗像市	大島～神湊～地島	A	B	今後の取り組みとして、観光事業と の連携を深め乗船客の増加を目 指し、併せて経費節減を行うことで 事業収支の改善を図る。航路の再 編により事務経費の削減などを行 い、航路運営の改善に取り組む。	船舶の運用を改善し、船員数の抑制 を図ることによりコストの削減を図る こと及び生活交通としての機能を確保し つつ、交流人口の拡大に対応した輸 送サービスを提供することが着実に実 行されることが望まれる。	
3	福岡県宗像市離島航 路確保維持協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	宗像市	地島～神湊	A	B	今後の取り組みとして、観光事業と の連携を深め乗船客の増加を目 指し、併せて経費節減を行うことで 事業収支の改善を図る。航路の再 編により事務経費の削減などを行 い、航路運営の改善に取り組む。	船舶の運用を改善し、船員数の抑制 を図ることによりコストの削減を図る こと及び生活交通としての機能を確保し つつ、交流人口の拡大に対応した輸 送サービスを提供することが着実に実 行されることが望まれる。	
4	福岡県新宮町離島航 路確保維持協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	新宮町	相島～新宮	A	B	島の活性化により、利用客の増加 を図る。支出の見直しを行い、日頃 から経費節減を図る。	生活交通としての機能を確保しつつ、 交流人口の拡大に対応した輸送サー ビスを提供する方策を検討されること が望ましい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
5	福岡県福岡市離島航 路確保維持協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	福岡市	玄界島～博多	A	B	島の人口の減少に伴い、渡船利用 者も年々減少しており、大幅な収 入増は見込めないことから、今後 も経費削減等に努めていく。	生活交通としての機能を確保しつつ、 交流人口の拡大に対応した輸送サー ビスを提供する方策を検討されること が望ましい。	
6	福岡県福岡市離島航 路確保維持協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	〃	小呂島～姪浜	A	A	利用客の増加や収入の増は期待 できない状況であることから、今後 も経費削減等に努めていく。	生活交通としての機能を確保しつつ、 交流人口の拡大に対応した輸送サー ビスを提供する方策を検討されること が望ましい。	
7	唐津市離島航路確保 維持協議会(佐賀県、 唐津市、事業者、利用 者代表ほか)	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	(有)郵正丸	馬渡島～呼子航路の 維持確保	A	A	釣り情報などの提供により、島外 の利用者の増加を図る。	生活交通としての機能を確保しつつ、 交流人口の拡大に対応した輸送サー ビスを提供する方策を検討されること が望ましい。	
8	唐津市離島航路確保 維持協議会(佐賀県、 唐津市、事業者、利用 者代表ほか)	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	(有)加唐島汽船	加唐島～呼子航路の 維持確保	A	A	百済、武寧王加唐島生誕説による 日韓の交流事業等により、利用者 の増加を図る。	生活交通としての機能を確保しつつ、 交流人口の拡大に対応した輸送サー ビスを提供する方策を検討されること が望ましい。	
9	唐津市離島航路確保 維持協議会(佐賀県、 唐津市、事業者、利用 者代表ほか)	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	川口汽船(有)	小川島～呼子航路の 維持確保	A	A	陸上交通との乗り継ぎなどの利便 性を図ることにより、利用者の増加 を図る。	予備船の共同化等に当たっては、特 定エリア内でのやりくりにとどまらず、 他エリアの航路との連携方策を検討 されることが望ましい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
10	唐津市離島航路確保 維持協議会(佐賀県、 唐津市、事業者、利用 者代表ほか)	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	唐津汽船(株)	神集島～湊航路の維 持確保	A	B	急速な高齢化傾向にあるため、早 期のバリアフリー船及び浮き桟橋 並びにポンツーンの整備を要望 し、利便性の向上を図ることによ り、利用者の増加に繋げたい。	離島住民の生活スタイルを維持、確 保することが最終的な目的である。こ のため、目標設定において、航路の 利用者数の維持だけにとられない よう留意すべき。	
11	長崎県離島航路対策 協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業 (離島航路運営費等 補助事業)	九州郵船(株)	博多～比田勝航路	A	B	車両について、水産業の不振、他 社内航RORO船の影響等で多くの 増加は見込めませんが、1台でも 多く利用していただくよう、働きか ける。	生活交通としての機能を確保しつつ、 交流人口の拡大に対応した輸送サー ビスを提供する方策を検討されること が望ましい。	
12	長崎県離島航路対策 協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業 (離島航路運営費等 補助事業)	対馬市	樽ヶ浜～仁位航路	A	B	主燃料の高騰で燃料費が高んで いる。 抜港や運航回数を削減することを 念頭に、事業の改善を図りたい。 将来的には、航路変更や規模縮 小、事業廃止等も視野に入れた協 議に入りたい。	生活交通としての機能を確保しつつ、 交流人口の拡大に対応した輸送サー ビスを提供する方策を検討されること が望ましい。	
13	長崎県離島航路対策 協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業 (離島航路運営費等 補助事業)	吉岐市	大島～郷ノ浦航路	A	A	H23年度については、光ケーブル 整備・給食センター建設等の公共 工事の増加により、運航収益が増 加した。しかし今後収益の減少が 危惧されるため、引き続き、収入の 増加・確保に努めていく。 また、経費についても、燃料単価 の毎月入札、中間検査の指名競 争入札の実施、消耗品の節約等を 引き続き実施し、今まで以上に経 費の節減を図っていく。	生活交通としての機能を確保しつつ、 交流人口の拡大に対応した輸送サー ビスを提供する方策を検討されること が望ましい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
14	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	野母商船株	福江～青方～博多航路	A	B	減収に歯止めをかけるべく新たな得意先の獲得等積極的な営業活動を実施継続いたします。燃料費の高騰は経営を圧迫するものであり、継続して減速運航を行い、燃料費の削減に努め、合理化を出来る限り行い経費の削減を行っていく所存であります。	燃料効率のよい航行方法の検討を行う等の燃料費の削減を図ることが望ましい。また、生活交通としての機能を確保しつつ、交流人口の拡大に対応した輸送サービスを提供する方策を検討されることが望ましい。	
15	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	五島旅客船株	郷ノ首～福江航路	A	A	地域公共活性化再生協議会並びに長崎県離島航路対策協議会に新たに設置された地域分科会を通じて、地元住民に足としてより良い運航形態を目指すことにより、利用者の増加を図りたい。	離島住民の生活スタイルを維持、確保することが最終的な目的である。このため、目標設定において、航路の利用者数の維持だけにとらわれないよう留意すべき。	
16	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	長崎汽船株	長崎～伊王島～高島航路	A	B	事業者単独での航路維持は困難であり、今後離島航路対策協議会による経営診断・航路診断の調査結果をふまえ関係官庁と協議し、改善方策を決定・実施していく所存です。	船舶の運用を改善し、運航回数の抑制を図ることによりコストの削減を図ることが望ましい。	
17	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	五島市	浦～前島航路	A	B	五島市地域交通検討委員会奈留地区部会の立ち上げを平成24年度に変更した。引き続き、浦～前島航路においても、航路の効率化による支出減、最適化による利便性の向上等を検討することとしている。	燃料効率のよい航行方法の検討、ダイヤ改正による燃料消費量の削減、他航路と燃料を共同購入する等の燃料費の削減を図ることが望ましい。	
18	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	(有)木口汽船	久賀～福江～杵島航路	A	A	久賀島の運航便については、久賀島町内会と検討を重ねてきた。その結果4月1日よりシーガル冬期便をなくし、通年同時刻の運航便とする事となった。今後も離島住民及び利用者の要望に耳を傾け、運航便について改善すべき点は改善していくこととする。	離島住民の生活スタイルを維持、確保することが最終的な目的である。このため、目標設定において、航路の利用者数の維持だけにとらわれないよう留意すべき。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
19	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	(有)黄島海運	黄島～福江航路	A	A	離島住民及び利用者の要望を常に聞きながら、改善すべき点があるならば改善していく。	離島住民の生活スタイルを維持、確保することが最終的な目的である。このため、目標設定において、航路の利用者数の維持だけにとらわれないよう留意すべき。	
20	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	五島市(富江支所)	富江～黒島航路	A	B	今後は、運航便数等の見直しを行うなど、効率的な航路運営について検討していく。	船舶の運用を改善し、効率的な運航を図ることによりコストの削減を図ることが望ましい。	
21	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	五島市	玉之浦～荒川航路	A	B	利用者目標 315人に修正する。今後も重油単価の見積入札、定期点検を実施し経費削減に努める。航路の有効的な方法を模索し将来的にはバスへの転換を考える。平成24年4月に住民説明会実施予定	船舶の運用を改善し、運航回数の抑制を図ることによりコストの削減を図ることが望ましい。	
22	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	嵯峨島旅客船(有)	嵯峨島～貝津航路	A	B	安全運航に努め、利用者の増加を図る。離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、利用者の増加策も検討しつつ、安定的な航路運営を行うこととしたい。	生活交通としての機能を確保しつつ、交流人口の拡大に対応した輸送サービスを提供する方策を検討されることが望ましい。	
23	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	崎戸商船(株)	友住一佐世保航路	A	C	新船建造についての目標を立てる。経費削減のための方策として効率化船舶の建造やダイヤ見直しを含む航路改善計画を策定するため、調査事業を実施して検討する。計画が策定されるまでの間は、船員による修繕の実施により経費削減で収支改善に努める。	離島住民の生活スタイルを維持、確保することが重要であり、生活交通としての機能を確保しつつ、経費の削減方策を検討されることが望ましい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
24	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	九州商船(株)	佐世保～上五島航路	A	B	本航路の利用者利便の向上を図り、高齢過疎が進む離島人口が減少する中、積極的な営業活動を行い、島外からの観光客を誘致し交流人口を増やすことで離島の活性化を図り、本航路の利用者増に伴う増収につなげたい。	離島住民の生活スタイルを維持、確保することが重要である。このため、目標設定において、航路の利用者数の維持だけにとらわれないよう留意すべき。	
25	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	佐世保市	神浦～寺島～柳航路	A	A	今後も引き続き高齢者の利用促進及び観光事業の強化を行い、利用者の減少に歯止めをかける。さらに、航路改善計画に基づいたダイヤの見直し等を行い利用者の利便性の向上を目指す。	燃料効率のよい小型船舶の投入により、燃料費及び船員数の抑制を図ることによりコスト削減を図ることが望ましい。	
26	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	津吉商船(株)	津吉～相浦～佐世保航路	A	B	・収入減の歯止めをかける ・更なる経費削減に取り組む	生活交通としての機能を確保しつつ、交流人口の拡大に対応した輸送サービスを提供する方策を検討されることが望ましい。	
27	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	西海沿岸商船(株)	池島～神浦航路	A	B	西海市及び長崎市(池島)と連携し、航路利用客の増加に努める	生活交通としての機能を確保しつつ、交流人口の拡大に対応した輸送サービスを提供する方策を検討されることが望ましい。	
28	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	鷹島汽船(有)	阿翁～御厨航路	A	B	旅客 目標59,597人を58,963人に 自動車 目標5,132台を4,365台に 目標の下方修正となります。 松浦市地域公共交通活性化協議会において航路再編を含めた将来的な航路のあり方の検討を平成24年度より協議する事になっております。	生活交通としての機能を確保しつつ、交流人口の拡大に対応した輸送サービスを提供する方策を検討されることが望ましい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
29	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	鷹島汽船(有)	殿ノ浦～今福航路	A	B	旅客 目標68,000人を64,790人に 自動車 目標6,300台を5,570台に 目標の下方修正となります。 松浦市地域公共交通活性化協議 会において航路再編を含めた将来 的な航路のあり方の検討を平成2 4年度より協議する事になっており ます。	生活交通としての機能を確保しつつ、 交流人口の拡大に対応した輸送サー ビスを提供する方策を検討されること が望ましい。	
30	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	黒島旅客船(有)	黒島～高島～相浦航 路	A	B	今後の改善点としては、本土へ島 民が通勤できるような就業場所を 確保して、本航路を利用できるよ うな環境作りに取り組む。また、地域 の取組については、させぼパール シーの「島めぐるツアー」以外で個 人旅行者が増加している為、島民 の要望より個人旅行者の人数をカ ウント・報告し観光化の意識向上 に貢献している。	離島住民の生活スタイルを維持、確 保することが最終的な目的である。こ のため、目標設定において、航路の 利用者数の維持だけにとられない よう留意すべき。	
31	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	竹山運輸(有)	度島～平戸航路	A	B	市・県に陳情を重ね港湾設備の早 期整備に努めたい。 これ以上の燃料消費量の削減は 難しいため入札等による燃料単価 の削減に努める。 代船等の増加による船員不足の 解消のために本船員の1名増をお 願いしたいと思っております。	生活交通としての機能を確保しつつ、 交流人口の拡大に対応した輸送サー ビスを提供する方策を検討されること が望ましい。	
32	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	小値賀町	笛吹～大島・野崎航路	B	B	笛吹～野崎便を季節的に増減する ことを含めた全体的な運航ダイヤ の見直し	離島住民の生活スタイルを維持、確 保することが最終的な目的である。こ のため、目標設定において、航路の 利用者数の維持だけにとられない よう留意すべき。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
33	長崎県離島航路対策協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	小値賀町	納島～柳航路	A	A	1日/5便から4便への1便減を含む運航ダイヤの見直し	生活交通としての機能を確保しつつ、交流人口の拡大に対応した輸送サービスを提供する方策を検討されることが望ましい。	
34	姫島～国見航路運営協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	姫島村	姫島～国見の離島航路運航	A	B	観光客誘致を積極的に行い、恒常的に利用客を増やせるよう取り組む。 また、船員費の削減に努めるとともに、燃料費の抑制を図る。	生活交通としての機能を確保しつつ、交流人口の拡大に対応した輸送サービスを提供する方策を検討されることが望ましい。	
35	大島～佐伯航路運営協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	佐伯市	大島～佐伯の離島航路運航	A	B	省エネ船に代替建造を行い、ダイヤの見直しや貨物運賃の改定を行う。 また、県や商工会議所等と連携し、本航路の情報を広報する。	燃料効率のよい小型船舶の投入により燃料消費量の削減を図るとともに、生活交通としての機能を確保しつつ、交流人口の拡大に対応した輸送サービスを提供する方策を検討されることが望ましい。	
36	津久見～保戸島航路運営協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	(有)やま丸	津久見～保戸島の離島航路運航	A	B	運航ダイヤ見直しを行い、コスト削減のため減便を検討する。 また、ドック等での点検を徹底し、船舶修繕費の増加を抑制する。 さらに、市や観光協会等と連携し、観光客の航路利用を促進する。	燃料効率のよい航行方法の検討、ダイヤ改正による燃料消費量の削減を図るとともに、生活交通としての機能を確保しつつ、交流人口の拡大に対応した輸送サービスを提供する方策を検討されることが望ましい。	
37	蒲江～深島航路運営協議会	離島航路に係る地域公共交通確保維持事業 (離島航路運営費等補助事業)	蒲江交通(有)	蒲江～深島の離島航路運航	A	B	遊覧運航や増便を検討する。 また、県、市と連携し、観光客の航路利用を促進する。	生活交通としての機能を確保しつつ、交流人口の拡大に対応した輸送サービスを提供する方策を検討されることが望ましい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
38	延岡市離島航路確保 維持改善協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	日豊汽船(株)	島浦～浦城航路	A	A	島の人口減少が続いているため、 関係機関や住民と連携し、観光や 産業の振興に努めることで、島外 からの観光客や自動車航送の増 加につなげ、収益を維持する。	生活交通としての機能を確保しつつ、 交流人口の拡大に対応した輸送サー ビスを提供する方策を検討されること が望ましい。	
39	串木野～甑島航路対 策協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業 (離島航路運営費等 補助事業)	甑島商船株式会社	串木野～甑島航路の 運航	A	A	・引き続き、航路改善計画における 改善策実施のため、調整を行って いく。 ・運航事業者においては、地元自 治体と連携して旅行会社への旅行 商品造成の働きかけを積極的に行 い、航路利用者の増加に努める。 ・経費削減に努め、安定的な航路 運営を行い、離島住民にとって必 要不可欠な交通手段である航路の 維持・確保に努める。	生活交通としての機能を確保しつつ、 交流人口の拡大に対応した輸送サー ビスを提供する方策を検討されること が望ましい。	
40	鹿児島～喜界～知名 航路対策協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業 (離島航路運営費等 補助事業)	奄美海運株式会社	鹿児島～喜界～知名 航路の運航	A	A	・引き続き、運賃割引を実施する ことで島民の交通費負担を軽減す るとともに、利用者増につなげたい。 ・燃料価格の変動に応じた燃料油 価格変動調整金を変更するなど、 必要な収入の確保に努める。 ・経費削減に努め、安定的な航路 運営を行い、離島住民にとって必 要不可欠な交通手段である航路の 維持・確保に努める。	離島住民の生活スタイルを維持、確 保することが最終的な目的である。こ のため、目標設定において、航路の 利用者数の維持だけにとられない ように留意すべき。	
41	鹿児島～三島航路対 策協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業 (離島航路運営費等 補助事業)	三島村	鹿児島～三島航路の 運航	A	A	・経費削減に努め、安定的な航路 運営を行い、離島住民にとって必 要不可欠な交通手段である航路の 維持・確保に努める。	離島住民の生活スタイルを維持、確 保することが最終的な目的である。こ のため、目標設定において、航路の 利用者数の維持だけにとられない ように留意すべき。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
42	鹿児島～十島～名瀬 航路対策協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業 (離島航路運営費等 補助事業)	十島村	鹿児島～十島～名瀬 航路の運航	A	A	・経費削減に努め、安定的な航路 運営を行い、離島住民にとって必 要不可欠な交通手段である航路の 維持・確保に努める。	離島住民の生活スタイルを維持、確 保することが最終的な目的である。こ のため、目標設定において、航路の 利用者数の維持だけにとられない ように留意すべき。	
43	宮之浦～口永良部・島 間航路対策協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業 (離島航路運営費等 補助事業)	屋久島町	宮之浦～口永良部・島 間航路の運航	A	A	・経費削減に努め、安定的な航路 運営を行い、離島住民にとって必 要不可欠な交通手段である航路の 維持・確保に努める。	離島住民の生活スタイルを維持、確 保することが最終的な目的である。こ のため、目標設定において、航路の 利用者数の維持だけにとられない ように留意すべき。	
44	与路～古仁屋航路対 策協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業 (離島航路運営費等 補助事業)	瀬戸内町	与路～古仁屋航路の 運航	A	A	・経費削減に努め、安定的な航路 運営を行い、離島住民にとって必 要不可欠な交通手段である航路の 維持・確保に努める。	離島住民の生活スタイルを維持、確 保することが最終的な目的である。こ のため、目標設定において、航路の 利用者数の維持だけにとられない ように留意すべき。	
45	山口県生活交通確保 維持改善協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	下関市	竹崎～六連島	A	A	利用者は下げ止まりの傾向がある が、今後、島のイベント等を活用し 利用者増を図る。	離島住民の生活スタイルを維持、確 保することが最終的な目的である。こ のため、目標設定において、航路の 利用者数の維持だけにとられない ように留意すべき。	
46	山口県生活交通確保 維持改善協議会	離島航路に係る地 域公共交通確保維 持事業(離島航路運 営費等補助事業)	下関市	蓋井島～吉見	A	A	島の過疎・高齢化により利用者が 減少しているが、島のイベント等を 活用し利用者増を図る。	離島住民の生活スタイルを維持、確 保することが最終的な目的である。こ のため、目標設定において、航路の 利用者数の維持だけにとられない ように留意すべき。	